

荒瀬川の改良復旧における 工夫について

山形県県土整備部河川課
流域治水推進室

令和7年12月10日

1. 被災概要 令和6年7月洪水
2. 多自然川づくりアドバイザー制度
3. 工夫事例①、工夫事例②
4. 現在の検討事項

1. 被災概要 令和6年7月洪水

○二級河川日向川水系荒瀬川

➤ 山形県酒田市を流れる二級河川
山間部を流れ、平野部を経て
日本海に流下

➤ 荒瀬川中流域の河床は、砂や
礫で形成され、イワナ、ウグイ
などが生息し、アユの産卵場も
存在する。
また、上流域は、小さな石と礫で
河床が形成され、サクラマス
(河川残留型)などが生息する。

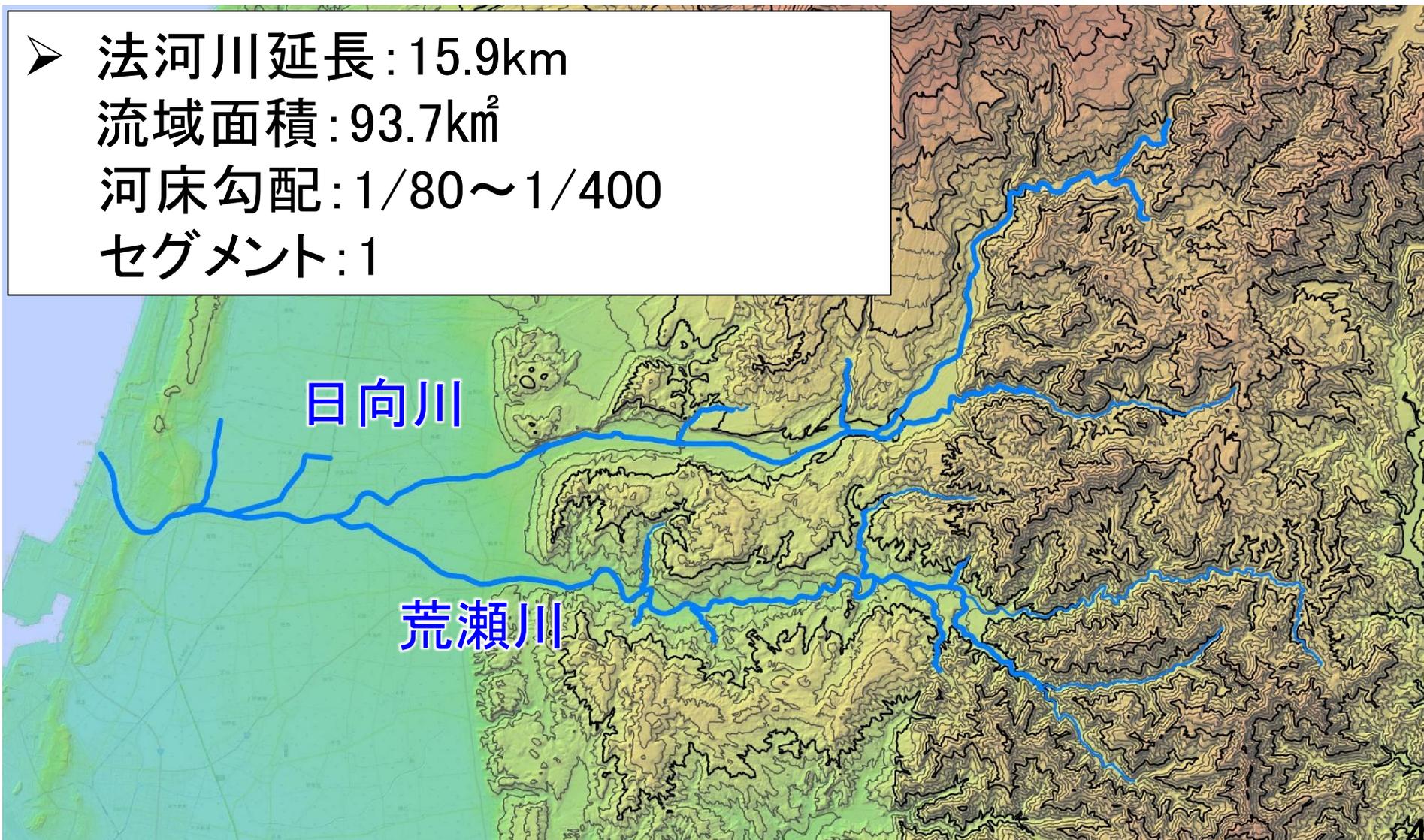
日向川 荒瀬川



1. 被災概要 令和6年7月洪水

○二級河川日向川水系荒瀬川

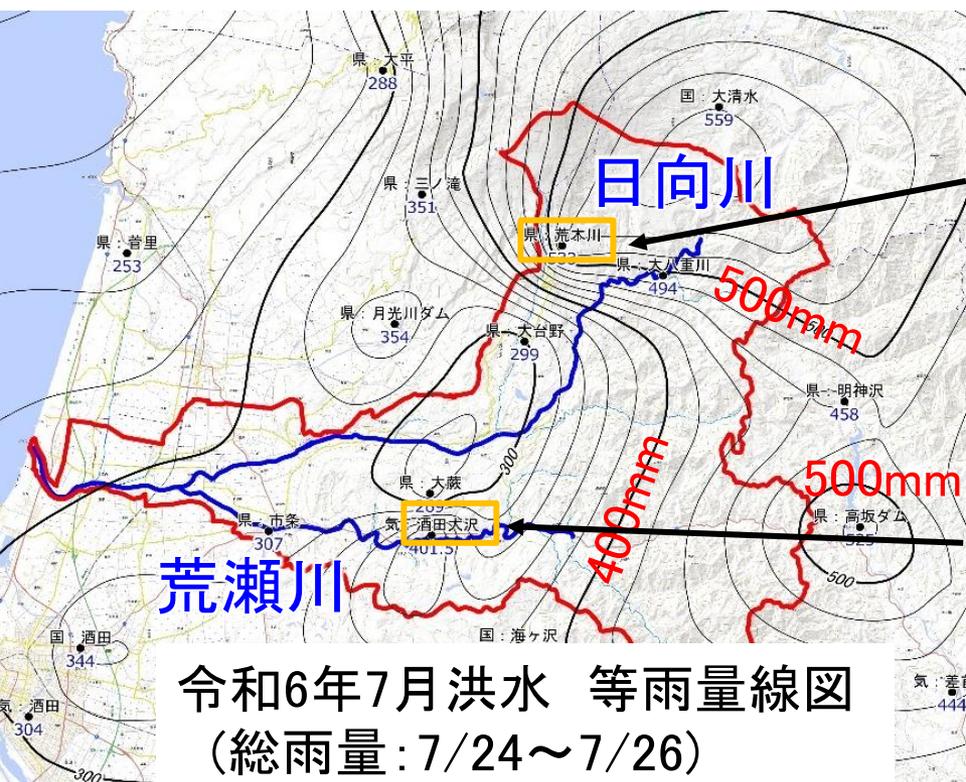
- 法河川延長: 15.9km
- 流域面積: 93.7km²
- 河床勾配: 1/80~1/400
- セグメント: 1



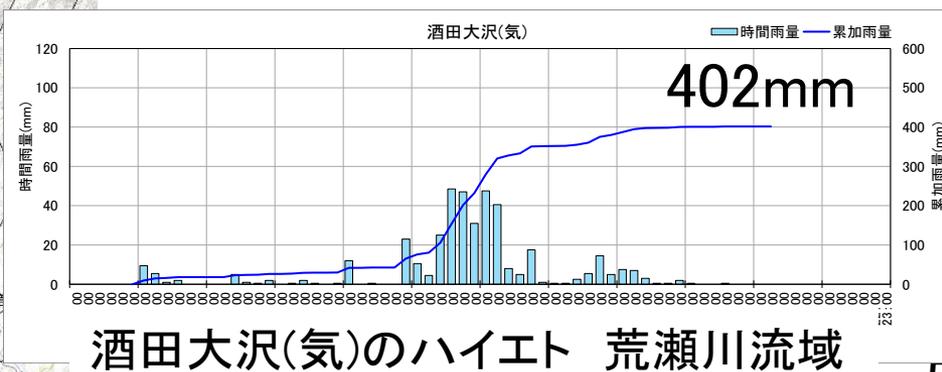
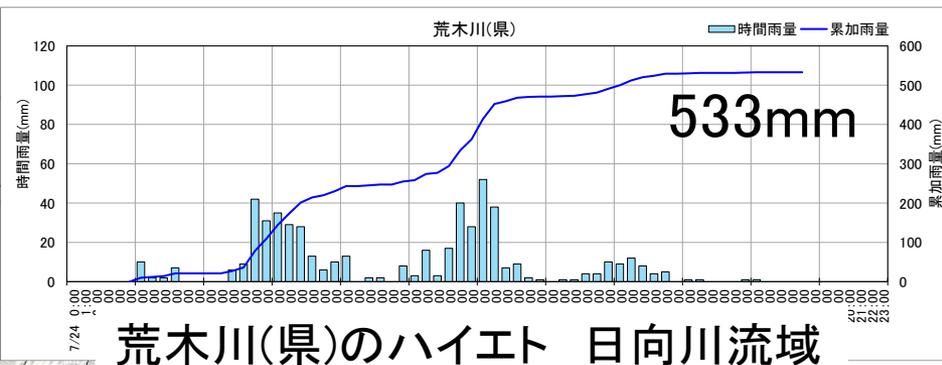
1. 被災概要 令和6年7月洪水

○降雨量

- 令和6年7月洪水では、酒田大沢(気)では累加雨402mm、荒木川(県)では累加雨量533mmとなった。
- 等雨量線図から荒瀬川や日向川の上流では、累加雨量400～500mmとなっている。



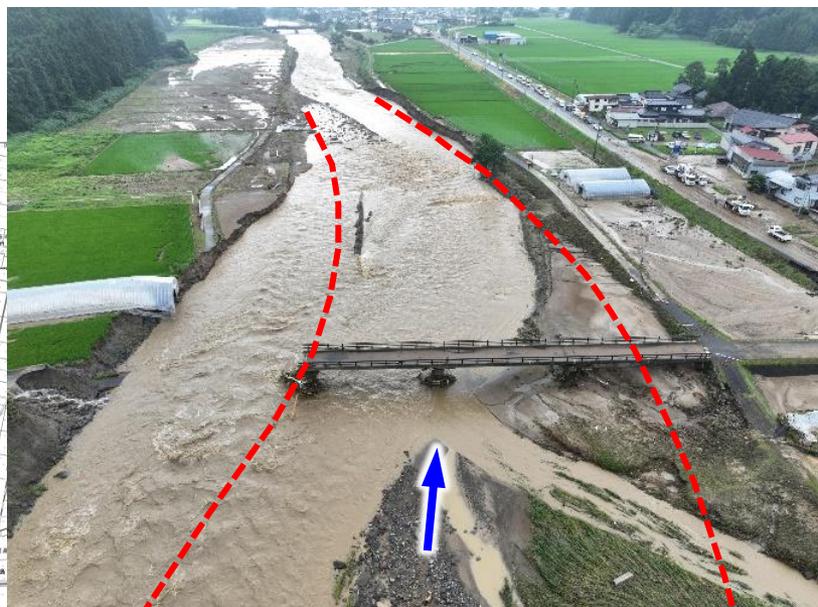
令和6年7月洪水 等雨量線図
(総雨量: 7/24～7/26)



1. 被災概要 令和6年7月洪水

○荒瀬川 被害状況

- 浸水戸数**383戸**（うち、床上浸水160戸）、浸水面積**339ha**
- 護岸や橋梁の被災、流木による河積阻害、土砂堆積



1. 被災概要 令和6年7月洪水

○荒瀬川 被害状況



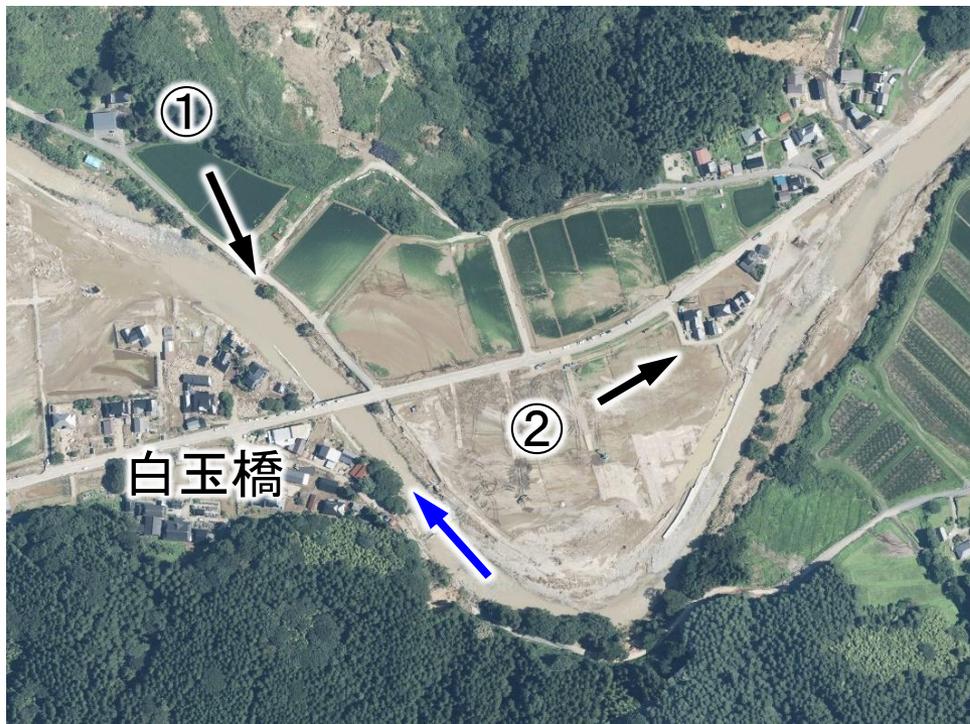
1. 被災概要 令和6年7月洪水

○荒瀬川 被害状況



1. 被災概要 令和6年7月洪水

○荒瀬川 被害状況

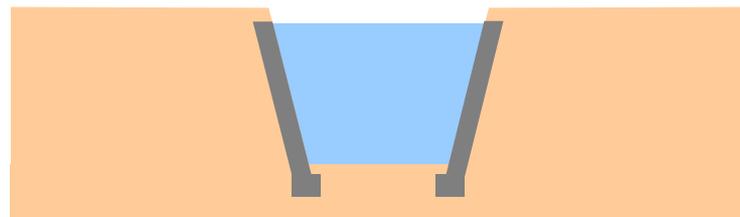


1. 被災概要 令和6年7月洪水

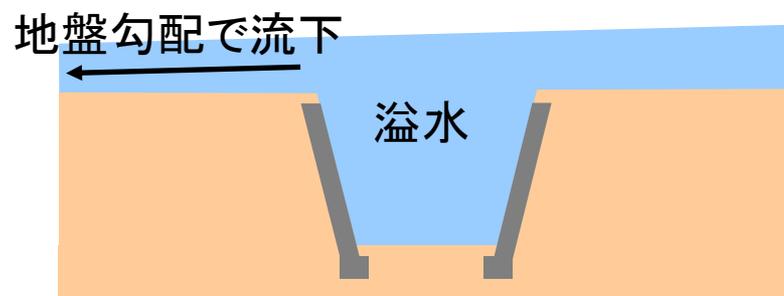
○荒瀬川 被害状況



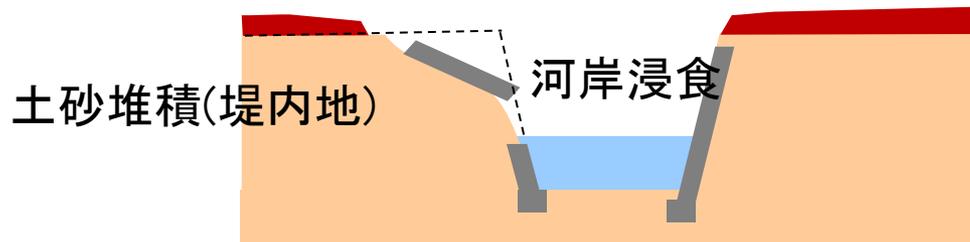
① 流下能力以上の流量が
河川に流入し、水位が上昇



② 河川から溢水した氾濫流は、
地盤勾配で流下



③ 護岸の破損、河岸侵食が発生氾濫流
によって堆積、道路や家屋等の被災



1. 被災概要 令和6年7月洪水

○河川整備計画と緊急治水対策プロジェクト

- 二級河川日向川水系河川整備計画(R7.8.12策定)
- 日向川水系・月光川水系 緊急治水対策プロジェクト(R6.11.29策定)



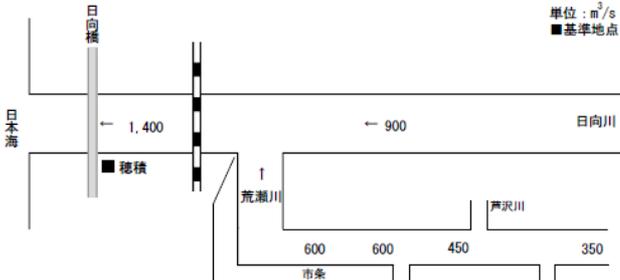
(1) 河道の整備

対象区間の流下能力を向上させるため、河道掘削・築堤等を実施する。

(2) 配慮事項

河道掘削を行うことから、水際部については現在の良好な河川環境を可能な限り復元することにより、魚類の生息環境について配慮する。取水堰では、改築と合わせて魚道を整備し、多様な動植物の生息環境の保全・復元に努める。護岸の設置は、河岸や堤防の決壊を防ぐために必要な範囲において施行する。

なお、荒瀬川の河川整備にあたっては、令和6年7月洪水で河岸侵食を受けた箇所など、川幅を広げられるところは拡幅して整備することで、洪水の水位を下げ流速を弱めると共に、川幅に変化を与えることで瀬・淵の創出を図る。



二級河川日向川水系 河川整備計画

日向川水系・月光川水系 緊急治水対策プロジェクト

○二級水系である日向川水系及び月光川水系では、令和6年7月25日からの大雨により甚大な被害を受けたことを踏まえ、激甚化・頻発化する災害に対して浸水被害の軽減を図るため次の対策を実施する。
 >山形県(河川)は、荒瀬川の河道掘削、施設復旧や土砂浚渫を集中的に実施するとともに、継続中の事業についても進度を加速化し浸水被害を軽減する。
 >山形県(砂防)は、土石流などが発生した渓流において、砂防堰堤等の施設を整備し、本川への土砂・流木の流出を軽減する。

- 事業期間 令和6年度～令和10年度
- 事業費 約160億円
- 目標 令和6年7月と同規模の洪水に対して、越水・溢水による浸水被害を防止する。
 なお、今後、激甚化・頻発化する災害に対しても氾濫による浸水被害を軽減する。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河川区域での対策
 - 1 荒瀬川の河川整備計画策定【山形県・河川】
 - 2 荒瀬川の河道掘削【山形県・河川】
 - 3 施設復旧【山形県・河川】
 - 4 土砂浚渫【山形県・河川】
 - 5 継続事業(築堤・河道掘削、貯砂ダム整備)の加速化【山形県・河川】
- 集水域での対策
 - 6 砂防堰堤の整備、土砂・洪水氾濫対策検討【山形県・砂防】
 - 7 治山施設の整備【林野庁、山形県・森林】
 - 8 雨水排水施設の整備【遊佐町】
 - 9 田んぼダムの推進【酒田市】

- 被害対象を減少させるための対策
- 氾濫域での対策
 - 10 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導【山形県、酒田市】

- 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策
- 氾濫域での対策
 - 11 水害リスク情報の充実と普及【山形県、酒田市、遊佐町】
 - 12 早期復旧・復興のための拠点づくり

- 本プロジェクトと連携して進める事
- 地域の復旧復興のためのライフライン
 - ・道路施設の復旧【山形県、酒田市、
 - ・農地、農業施設の復旧【酒田市、
 - ・水道、下水道施設の復旧【酒田市】



日向川水系・月光川水系 緊急治水対策プロジェクト

2. 多自然川づくりアドバイザー制度

- ▶ 被害が甚大かつ一定計画に基づく改良復旧が必要
→ **河川等災害復旧助成事業**による復旧を検討



R6.7月洪水被害状況



改良復旧に向けて...

2. 多自然川づくりアドバイザー制度

- ▶ 多自然川づくりアドバイザー制度運用要領
→ アドバイザーによる現地調査を実施
(令和7年10月17日)

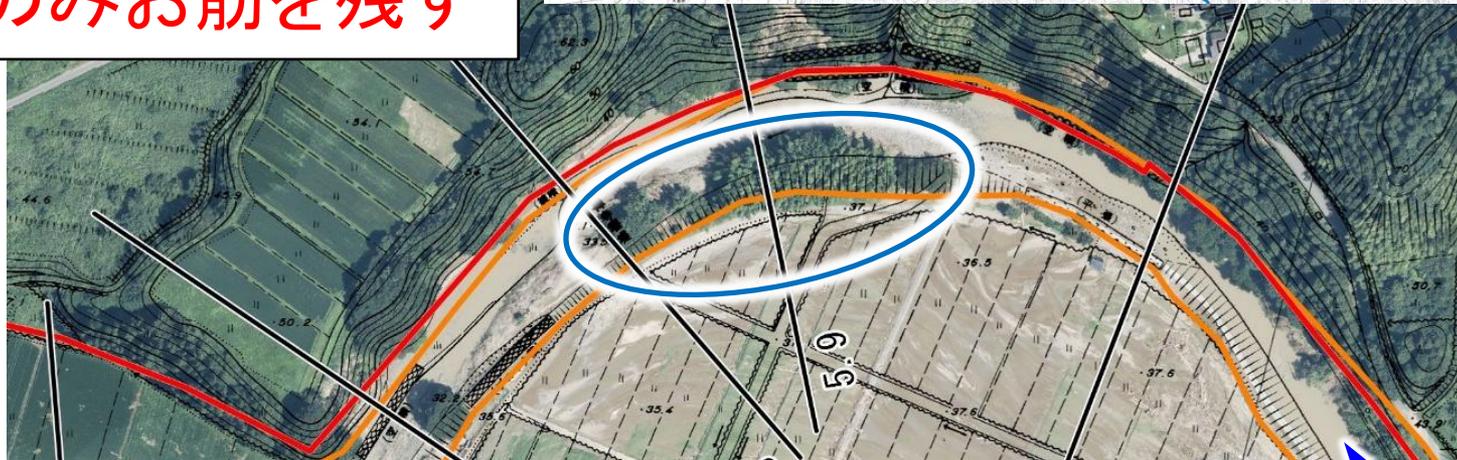


多自然川づくりアドバイザー
現地調査実施状況

3. 工夫事例①

○当初計画

- ・河道掘削による流下断面確保
- ・右岸のみお筋を残す



当初計画



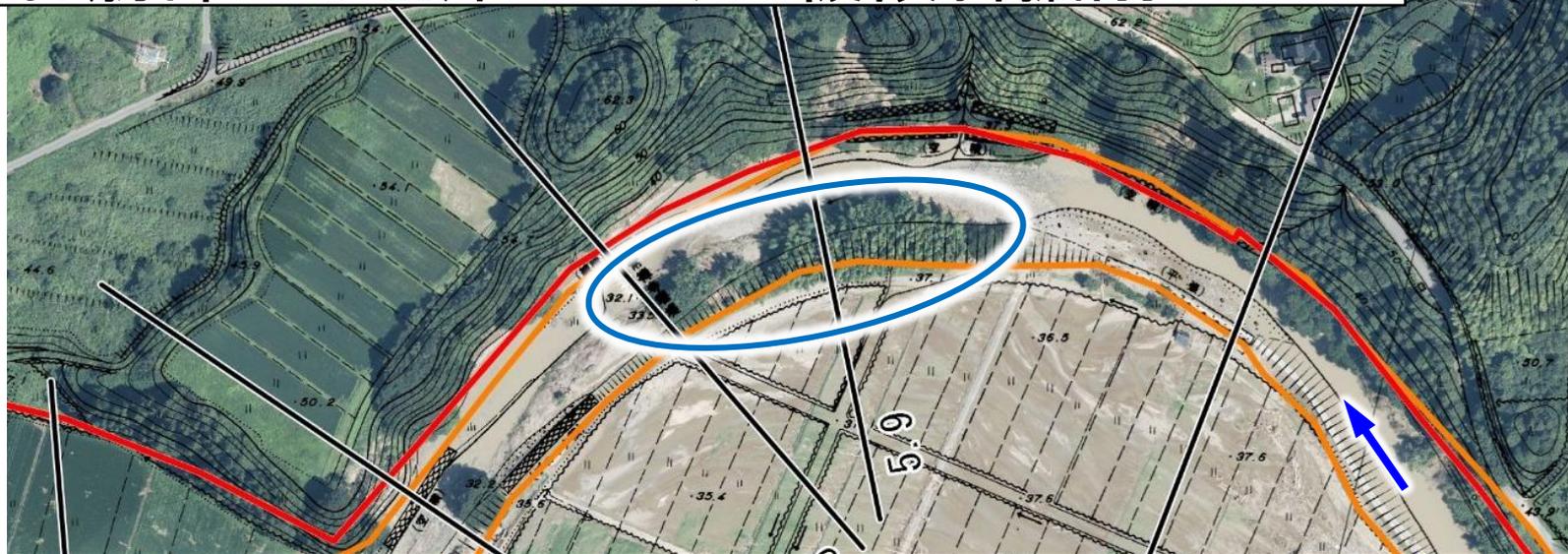
平均年最大流量流下時
水位相当まで掘削

現況河床(みお筋)を残す

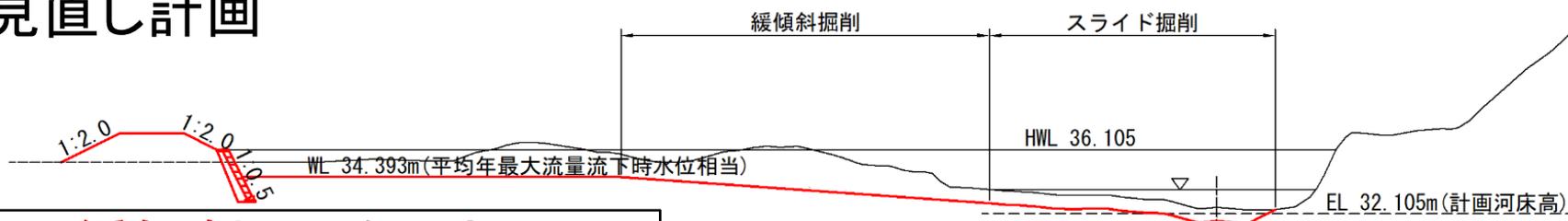
3. 工夫事例①

○対応方針

→現況川幅部分はスライド掘削でみお筋を確保
みお筋部から左岸にかけて緩傾斜掘削



見直し計画



緩傾斜にしたことで
土砂再堆積の抑制に配慮

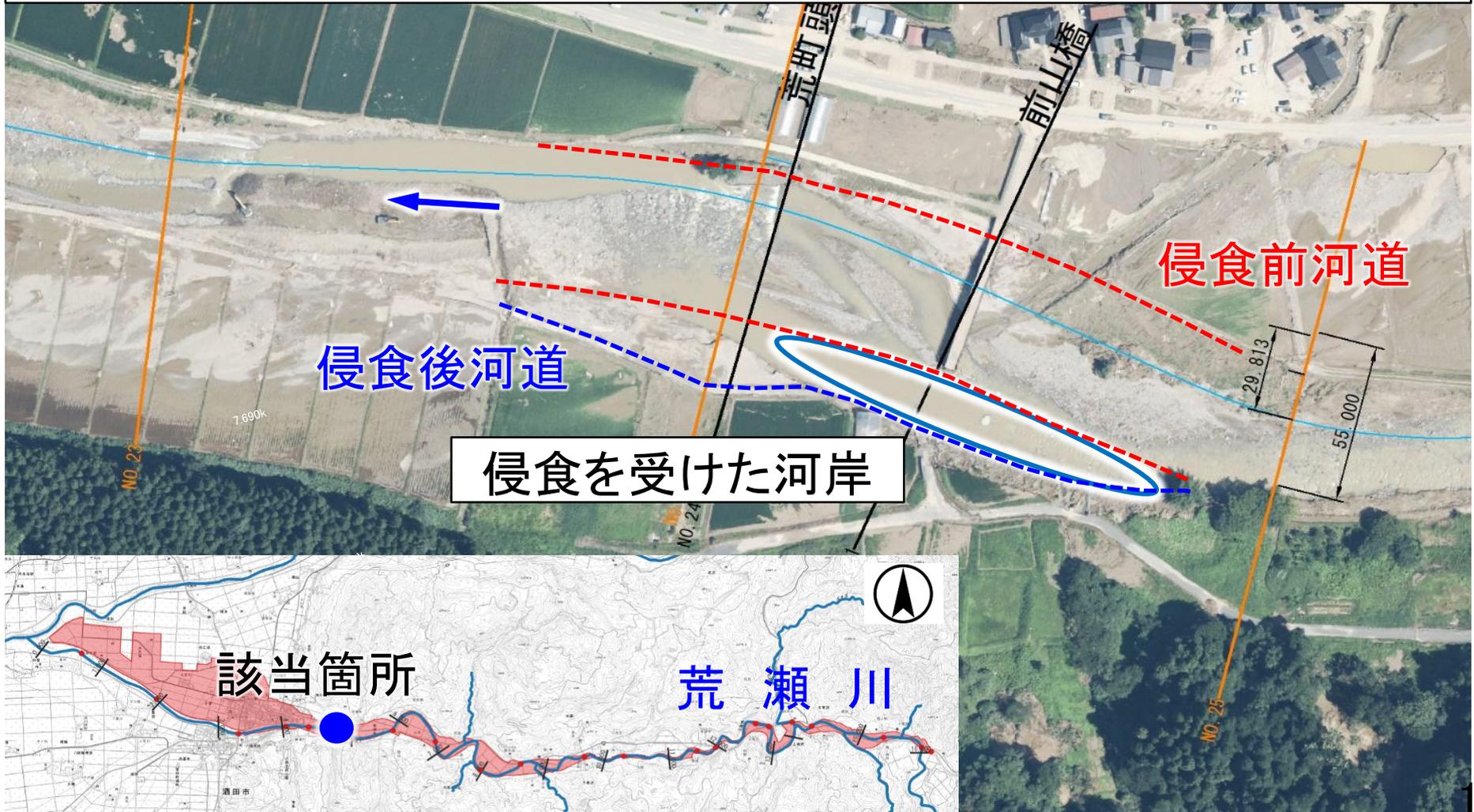
前後の縦断や川の成り立ちを
考慮したうえで掘り下げ

3. 工夫事例②

○アドバイザーによる指摘事項

・侵食を受けた河岸を活用した計画

→川幅の拡幅による水位低下、魚の生息環境の回復

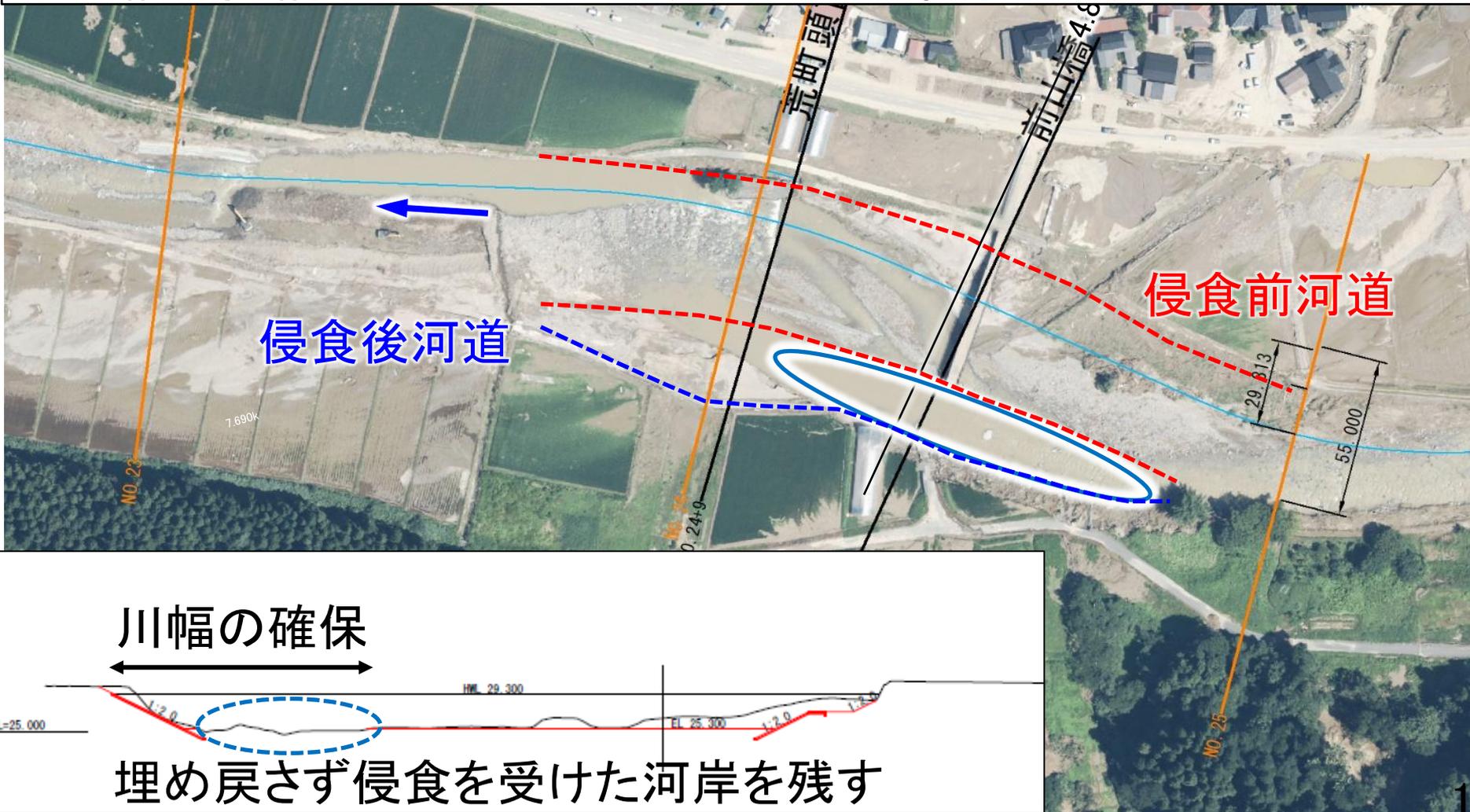


3. 工夫事例②

○アドバイザーによる指摘事項

・侵食を受けた河岸を活用した計画

→川幅の拡幅による水位低下、魚の生息環境の回復

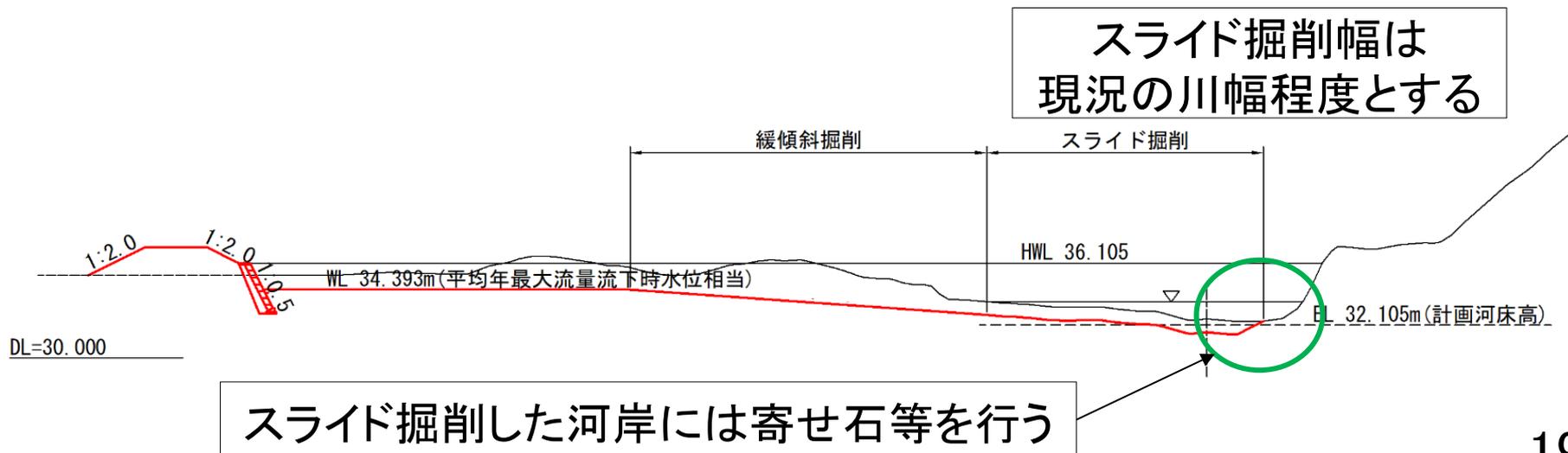


4. 現在の検討事項

○詳細設計への移行

➤スライド掘削について

- ・水深や河川の流れに多様性を持たせる＝玉石を有効に活用する
- ・スライド掘削した河岸には寄せ石等を行う
- ・スライド掘削を行う幅＝河川改修前の川幅程度が望ましい
→水深が浅くかつ水面幅が極端に広くなならないよう留意



4. 現在の検討事項

○ 詳細設計への移行

➤ 取水施設の移設・改築について

→ 荒瀬川沿川で10箇所取水施設(移設:7箇所 改築:3箇所)



主な関係者

(調査設計関係者)

株式会社建設技術研究所 東北支社

ご清聴ありがとうございました

